



# 高橋秀典県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 成田空港の機能強化 東総への波及策求む

## 総合計画でも取り組む 知事

旭市選出の高橋秀典議員は、令和3年12月県議会に登壇し、成田空港の機能強化に伴う東総地域への波及効果を筆頭に、農業、養豚業「コナ」、不法投棄など東総地域を中心とした課題についてお話ししました。その全容と要望についてお伝えします。

**高橋議員** 旭市銚子市・匝瑺市の3市からなる東総地域は、千葉県農水産業の要であり、このエリアと成田空港及び周辺地域を効果的に結びつけることは、今後の千葉県経済発展の戦略上、極めて重要で大きなポテンシャルを持っている。

この際、成田空港の機能強化の効果をより広域に波及するよう、東総地域を視野に入れた具体的な計画を盛り込むべきではないか。



令和3年12月県議会に登壇した高橋秀典議員

**知事** 東総地域は、農業、畜産業、水産業が発展した食料の一大産地であるとともに、多彩な観光資源に恵まれるなど、高いポテンシャルを持っています。

また、成田空港では、令和10年度末に第3滑走路が供用開始される予定であり、広域的な道路網の整備進展とあわせて、人・モノ・財の流れが層々大きくなることが見込まれています。

このため、新たな総合計画原案では、成田空港の更なる機能強化等による効果を最大限に生かし、農水産業や観光業の振興、インターチェンジ周辺への企業誘致等により、地域の活性化に取り組むこととしています。

**移住定住の促進**  
**高橋議員** 東総3市の地域活性化のためには、人口減少に歯止めをかけることが重要である。そこで、東総地域への移住定住促進に、どう取り組んでまいります。

**大災害時の被災者支援**  
**高橋議員** 大規模災害が

## コナ支援体制の強化を

市町村との連携状況

高橋議員 夏の新型コロナウイルス感染症の感染拡大では、感染者が急増し待機患者は約12,000人にも及んだ。自宅療養患者の支援体制を構築するべく、市町村との連携が今から必要だと考

えら。どう取り組んでいるか。

**知事** 今年の夏の新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、自宅療養者等が大幅に増加したことから保健所の業務が逼迫し、一部自宅療養者等に対して健康観察が遅れるなどの課題が

あったと認識しています。そこで、県では、自宅療養者等の対応を強化するために、市町村と覚書を締結することで健康観察や生活支援業務などの事業を連携して実施することとしました。現在、45市町村と覚書を

締結し、実施事業について決定しており、次の感染拡大に備え、市町村と協力して、感染症対応の体制強化を図ってまいります。

**要望** 今後の県と市町村との連携においては、市町村の状況も考慮し、第5波までの経験を活かして、刻々と変化する状況に即応できるように配慮をお願いします。

## 大災害時の協力強化

発生した場合、被災者の生活再建に向けての支援にはどのようなものがあり、どのようにして被災者に届けられるのか。

**防災危機管理部長** 大規模災害時には、災害救助法に基づき、被災した住宅の応急修理や住家失った方への仮設住宅の提供等を県や市町村が実施します。

また、住宅全壊世帯や大規模損壊等を受けた世帯に、被災者生活再建支援制度による支援金の支給や災

害保護資金貸付制度による必要な資金の貸付などの支援を行います。

これらの支援にあたっては、市町村が罹災証明書の発行や申請の受付審査などの業務を行っており、被災者からの相談への対応や被災者への給付は、市町村と連携して行っています。

**要望** 大規模災害に際し、被災自治体の業務が円滑に行われるよう、県外の自治体との災害協定締結を支援するなど、災害時の自治体間の協力体制の強化をぜひともお願いします。

環境生活部長 県では、県民からの通報を24時間

総合企画部長 東総地域は、空港周辺の産業集積が進展し、新たな雇用の創出が期待されるとともに、道路網の充実により居住地としての魅力が層々高まることが見込まれます。

**要望** 空港及び周辺地域を効果的に結び付けていくことは、千葉県経済の発展に大きく寄与するものと考えられる。成田空港周辺地域9市町に東についても、アクセスの強化など、成田空港を活用した取り組みを、確実に進めていただくよう要望する。

**清滝バイパスの進捗状況**  
**高橋議員** 今後の東総地域の発展のためには、成田空港及び周辺エリアとのアクセス強化が重要である。現在、県道銚子海上線の清滝バイパスが整備されており、このバイパスは経済効果波及だけでなく神栖市から匝瑺市を結ぶ東西軸を形成する。進捗状況はどうか。

**県土整備部長** 県道銚子海上線は、旭市岩井から清滝までの2.4km区間について、バイパス整備を進め、これまでに銚子側の改良工事と橋梁工事が概成しました。

トンネル工事は、想定よりも地盤が弱く、完成が遅れが生じましたが、今年9月には掘削工事が完了したところとす。

今後、残るトンネル内の工事や交差点改良等を鋭意進め、バイパスの早期供用を目指し推進してまいります。

**要望** このバイパスの完成による効果は地元にとつて大変大きなものであり、期待が寄せられている。安全に工事を進め、一日も早い供用をお願いします。

高橋議員 千葉県は、首都圏での位置、道路網、地形などから、不法投棄されやすい条件がそろっている。この状況を改善するには、県全体で不法投棄ゼロの機運を喚起していく必要があると思うが、取り組むだろうか。

**要望** 県民の機運を盛り上げる方法のひとつとして、ごみ拾いSNSアプリ導入などもある。県を挙げて不法投棄やポイ捨ての無いクリーンな千葉を目指すためには、住民と体となつての活動が必要となるので、県のリーダーシップを要望する。

旭市選出の高橋秀典議員は、令和3年12月県議会に登壇し、成田空港の機能強化に伴う東総地域への波及効果を筆頭に、農業、養豚業「コナ」、不法投棄など東総地域を中心とした課題についてお話ししました。その全容と要望についてお伝えします。

旭市選出の高橋秀典議員は、令和3年12月県議会に登壇し、成田空港の機能強化に伴う東総地域への波及効果を筆頭に、農業、養豚業「コナ」、不法投棄など東総地域を中心とした課題についてお話ししました。その全容と要望についてお伝えします。

旭市選出の高橋秀典議員は、令和3年12月県議会に登壇し、成田空港の機能強化に伴う東総地域への波及効果を筆頭に、農業、養豚業「コナ」、不法投棄など東総地域を中心とした課題についてお話ししました。その全容と要望についてお伝えします。

旭市選出の高橋秀典議員は、令和3年12月県議会に登壇し、成田空港の機能強化に伴う東総地域への波及効果を筆頭に、農業、養豚業「コナ」、不法投棄など東総地域を中心とした課題についてお話ししました。その全容と要望についてお伝えします。

旭市選出の高橋秀典議員は、令和3年12月県議会に登壇し、成田空港の機能強化に伴う東総地域への波及効果を筆頭に、農業、養豚業「コナ」、不法投棄など東総地域を中心とした課題についてお話ししました。その全容と要望についてお伝えします。

# 期待高まるワーケーション

**高橋議員** ワーク労働とワーケーション(休暇を組み合わせたワーケーション)は働き方改革とコロナに伴う「新しい日常」の環として国も奨励しており新たな人流を創り出す可能性として期待を寄せている。ワーケーションの推進については、県の考え方と、具体的な取組状況はどうか。

**商工労働部長** 本県はワーケーションの場として優位性が高いことから、受入促進事業を9月補正予算で措置したところだ。このうち、宿泊施設等への補助金については、多くの市町村から要望が寄せられ、現在審査を進めている。また、企業側が期待するワーケーション環境についても、首都圏の企業に対して調査を行っている。今後には調査結果も踏まえワーケーションの受入に向けた地域の積極的な取組を支援してまいります。

**要望** ワーケーションは、市町村単独での取り組みでは、相当困難ではないかと考える。県が積極的に関与し、都内企業とのマッチングを行える仕組みを構築していただけるようお願いする。

# 千葉県産の農林水産物 更なる輸出促進策を

**輸出状況と今後の輸出振興**  
**高橋議員** 国内の農林水産物の輸出が伸びており、コロナ後を見すえ輸出を強力に推進するべきではないかと思うが、千葉県の輸出の状況はどうか。また今後の輸出振興についてどう考えているのか。

**農林水産部長** 国全体の輸出額は増加傾向にあり、今後、更なるマーケットの拡大が期待されます。令和2年の県産農林水産物・加工品の輸出額は約138億円で、前年比25%増となる一方、新型コロナウイルスの影響で野菜・果実類の輸出は前年比49%減となりました。

今後は、コロナ後の需要を見すえて、海外バイヤーとの連携に加え、新生成田市場を活用した輸出先の開拓を検討するとともに、県

# 戦略的な取組が必要

内事業者の取組を積極的に支援することで、輸出を促進してまいります。

**戦略的な取組**  
**高橋議員** 県内における重点品目を絞り、ターゲット国・地域を特定した上で、輸出産地の形成を戦略的に後押しするべきではないか。

**農林水産部長** 次期「千葉県産農林水産業振興計画」において、サツマイモなどを県の輸出重点品目に、米などを有望品目に定め、生産者団体などと協議した上で、国とも連携しながら、輸出産地の形成や海外販路の開拓を支援してまいります。

**要望** 一般的な生産者にはかなり高く感じられるので、プラットフォーム



高橋議員が再質問する様子

う、また、地方にとって新たな観光の開拓ともなるので、強力に後押ししていただけるよう、予算措置も含めてお願いする。

**コロナ後の輸出促進**  
**高橋議員** 県産食用米の輸出強化も、消費拡大に向けた戦略の環である。JAいちかわによる千葉県産米「粒すけ」初輸出は、県産コメ輸出の突破口となる快挙である。このことから、県産食用米の輸出を層促進すべきと思うがどうか。

**農林水産部長** 海外の日本食ブームを好機として、県では、輸出に取り組みする生産者団体、事業者の販売促進活動や機械整備等に必要経費を助成するほか、商談会の開催などにより輸出の支援を行っています。今後は、生産者団体等と連携して、海外諸国の状況

# 豚熱 生産者の安心策望む

**豚熱対策の取り組み**  
**高橋議員** 野生イノシシを媒介した豚熱の発生リスクは依然として続き、生産者の不安解消には至っていない。本県における豚熱対策への取組状況はどうか。

**農林水産部長** 県では、本年11月末までに全農場の緊急点検を行い、野生動物の侵入防止対策において、改善指導を実施しています。また、発生リスク低減のため、知事が認定した民間獣医師によるワクチン接種を可能とするなど接種体制の充実を図ったところです。今後も、着実なワクチン接種と発生予防に努めるとともに、防疫演習等による

**埋却地の確保**  
**高橋議員** 豚熱の殺処分用地については生産者が埋却地を予め用意しておくことが必要です。多くの豚舎が集中する旭市では、地下水が湧出する場所も多く用地確保は困難である。

# 燃油高騰への対策急務

**高橋議員** 施設栽培における暖房設備として最も多く使われている重油ボイラーだが、その燃料費は経営費の高い割合を占めている。燃油高騰が施設園芸の経営を圧迫している中で、県の対応はどうか。

**農林水産部長** 県では施設園芸農家に対し国のセーフティネット事業の活用を呼び掛けており、このたび国が追加公募を開始した結果すでに加入している29経営体に加え、追加公募には11月末現在で150以上の経営体加入の意向を示しています。今後多くの希望者が活用できるように支援してまいります。

**要望** 燃油価格の高騰は施設園芸農家に

**省エネ暖房機 導入を支援**

**高橋議員** 農業による環境負荷の低減は大きな課題で、生産者に大きな負担を課す可能性もある。そこで環境負荷の少ないヒートポンプ等による暖房の導入について支援の状況はどうか。

**要望** 省エネルギー型暖房機器の導入について県においても積極的に推進し、生産者の負担を抑制しつつも、持続可能な農業の構築を計画的に目指すよう要望する。

そこで、地元自治体の協力も得ながら、実効的な埋却地確保に取り組みが必要ではないか。県内養豚農家の確保状況はどうか。

**農林水産部長** 県で行った緊急点検の結果、県内363農場のうち、45農場で埋却地の確保が不足していることが判明しました。このため、市町村に対し、埋却地確保について協力を依頼し、養豚関係団体に對して

やニーズを把握し、輸出先国や所得階層などターゲットを絞りながら効果的に販路拡大を図ってまいります。

**要望** 県内稲作の維持のために、主食用米

の積極的な輸出を進めるべきと考える。今回のJAいちかわの様な取組を後押しし、県産米の海外展開を積極的に進めていただくよう要望する。

● 県政と旭市に関するご意見をお寄せください。

**高橋秀典** 県議事務所

〒289-2516 旭市口-1551-4  
TEL.0479-62-6896 FAX.0479-62-6897  
Eメール:mail:keimeikan@gmail.com